

かわにし

市議会だより

令和元年
2019年
8月

No. **223**

<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>



キセラ川西せせらぎ公園（火打1丁目）

6月定例会号 もくじ

次世代型移動サービス推進会議の
設置に係る議案など審議……………2

常任委員会報告

総務生活常任委員会……………3

厚生文教常任委員会……………3

建設公企常任委員会……………4

審議結果等一覧・賛否の状況 …… 5

一般質問 …………… 6

委員会視察報告 …………… 10



市花りんどう

次世代型移動サービス推進会議の 設置に係る議案など審議

小・中学校における少人数学級の実現を求め意見書提出

新たな元号となって初めての令和元年第2回定例市議会が、6月6日に開会し、市長から26議案が提出されました。

このうち付属機関に関する条例を改正する議案では、「川西市次世代型移動サービス推進会議」を、新しく市の付属機関として設置する内容が示されました。今年度、川西市は、大手電気通信事業者と自動車メーカーの共同出資会社が行う全国規模の実証実験に参加することとなったため、これを踏まえて設置するもので、この会議では、情報通信技術を活用した移動サービス等の推進に関する重要事項について調査審議することとなります。

本市は、市全域をカバーする基幹的な公共交通は事業者によって比較的整備されている

ますが、近所での買い物や通院など日常生活に必要な交通網が十分でない地域もあり、高齢化に伴って大きな課題となっています。今回の実験で得られる結果は、こうした課題の解決に向けた活用が期待されるため、議案を付託された常任委員会では、実験の内容や終了後本市にもたらされる効果等について活発に質疑が交わられました。

この議案を含め、市長提案の議案については全て6月28日の本会議最終日に可決し、今期定例会は閉会しました。最終日にはこのほか、議会提案として「小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書」についても全会一致で可決し、国の関係各所へ直ちに送付しました。



あいさつ状はお出しできません

議員から残暑見舞状等(答礼のための自筆のものを除く)を出すことは、公職選挙法で禁止されています。皆さまのご理解をお願いいたします。



議会の活動状況

4月	5月	6月	7月
26日 ○議会運営委員会	13日 ○議会運営委員会	22日 ○議会運営委員会	3日 ○議会運営委員会
27日 ○議会運営委員会	15日 ○総務生活常任委員会行政視察(香川県三豊市)	27日 ○議会運営委員会	10日 ○議会運営委員会
28日 ○厚生文教常任委員会行政視察(滋賀県野洲市)	15日 ○建設公企常任委員会行政視察(栃木県栃木市)	28日 ○厚生文教常任委員会行政視察(兵庫県伊丹市)	17日 ○議会運営委員会
		29日 ○厚生文教常任委員会行政視察(兵庫県伊丹市)	○建設公企常任委員協議会
		30日 ○議会運営委員会	19日 ○飛行場対策周辺整備調査特別委員会
		6日 ○第2回市議会定例会(招集日)	24日 ○議会運営委員会
		12日 ○議会運営委員会	28日 ○第2回市議会定例会(最終日)
		13日 ○第2回市議会定例会(第2日)	○議会運営委員会
		14日 ○第2回市議会定例会(第3日)	26日 ○広報委員会
			17日 ○総務生活常任委員協議会
			20日 ○建設公企常任委員会
			24日 ○議会運営委員会
			28日 ○第2回市議会定例会(最終日)
			○議会運営委員会

常任委員会報告

総務生活常任委員会

委員(委員長=○ 副委員長=◎)
◎多久和桂子 ○磯部 裕子
大崎 淳正 吉富 幸夫 秋田 修一
岡 留美 北野 紀子 山下 隆志

川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、「不正競争防止法等の一部を改正する法律」及び「住宅用防災機器の設置及び維持に関する条例の制定に関する省令」の制定に伴い、一部を改正する省令」の制定に伴い、住宅用防災警報器等の設置免除要件の追加等をするため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問

川西市火災予防条例において、住宅用防災警報器等に関する設置の免除要件の一つとして定められている一定の技術上の基準を満たしたスプリンクラー設備を、本案によって「作動時間が60秒以内」のものから「種別が1種」に改めることであるが、現行の設備と改

正後における設備の違いに加えて、スプリンクラー設備を設置する対象物や基準などにおける変更の有無について伺いたい。

答弁

現行のスプリンクラー設備と改正後の設備は同等のものである。また、本改正によって、スプリンクラー設備の設置基準に変更は生じない。

厚生文教常任委員会

委員(委員長=○ 副委員長=◎)
◎平岡 謙 ○津田加代子 麻田 寿美
中曾千鶴子 西山 博大 中井 成郷
吉岡 健次 田中 麻未 小山 敏明

川西市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、川西市立川西幼稚園と川西市立川西保育所を統合し、新たに幼保連携型認定こども園として「川西市立川西こども園」を設置するため、条例の一部を改正しようとする



川西こども園工事現場

ものである。

質問

市立川西こども園は市立川西小学校の敷地内に整備するため、現在、工事が進められているが、安全上の問題はなく進捗しているのか伺いたい。

答弁

同園の建設工事は小学生の通学路と重なっているものの、南側から通学する児童はグラウンド東側の階段を通るように変更していることに加えて、工事現場における工事車両の入口にはガードマンを配置しており、今のところ問題は生じていない。

質問

こども園の開園後において、は、同園保護者の送迎車両によって、小学校正門側における交通量の増加が懸念されるが、この対策について伺いたい。

答弁

こども園における保護者の送迎も小学校の正門を利用することから、車と歩行者が分離できるように対策を講じる予定としており、具体的な方法については安全面を考慮した上で、今後検討していきたいと考えている。

令和元年度川西市一般会計補正予算(第1回)〈分割付託〉

質問

保育所運営事業において、幼児教育の無償化に対応するための賃金として311万2千円を追加しようとしているが、臨時職員として想定している雇用期間など詳細を伺いたい。

答弁

事務補助として週4日勤務で2名を採用する予定であり、今年度は7月から3月末までの期間を予定している。また、事務費に対する国庫補助については、今年度と来年度の2年間となっていることから、来年度以降については、今年度の状況を踏まえた上で検討したいと考えている。

建設ハム企常任委員会

委員(委員長○ 副委員長○)

◎斯波 康晴	○黒田 美智	谷 正充
福西 勝	松隈 紀文	坂口 美佳
大矢根秀明	江見 輝男	久保 義孝

市道路線の認定について

本案は、新名神高速道路及びその関連道路建設に伴い、兵庫県が施工した道路の移管を受けた部分について、新たに市道路線の認定を行うに当たり、道路法第8条第2項の規定により、議会の議決を求めるものである。

質問 この路線は、車両の進入が可能な一般道路の先が歩行者専用道路となっており、通り抜けができないことから、全面的に車両の進入を禁止すべきではないかと考えるが、これに対する市の見解を伺いたい。

答弁 当該路線は新名神高速道路及び川西インター線の建設によって、里道が分断されるための付け替え道路で、車両通行が可能な部分の先には住宅が1軒あり、この点を含めて地元関係者等と設計協議を重ね、今回の道路形態で整備を行うこととなったものである。

本市への移管後にあっては、車両の通り抜けができない旨の看板設置等により、注意喚起を行っていききたいと考えている。

が急速に進行しており、ニュータウンの再生に向けて公共交通の整備が喫緊の課題となっていることから、さまざまな視点で議論を重ねながら、取り組みを進めていきたいと考えている。

川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について
本案は、情報技術を活用し、さまざまな立場の人達が快適に移動できるまちづくりの実現を目指して、次世代型移動サービス推進に関する重要事項について調査審議する「川西市次世代型移動サービス推進会議」を設置するため、条例の一部を改正しようとするものである。

質問 本年度から実証実験が開始されるとのことであるが、運行予定の車両台数や自動運転の実現に向けた取り組みの流れなど、現時点で想定される具体的な内容について伺いたい。

質問 世帯型モビリティサービスの実現に向け、調査・研究するものがあるが、本市がモネ・テクノロジー・ズ株式会社によるオンデマンドモビリティの実証実験を活用するに当たり、全国17自治体の1つに本市が選ばれた理由を市としてどのように受け止めているのか伺いたい。

答弁 現時点では、使用する車両は4台の想定であるものの、実証実験の規模や具体的な方法などについては、これより少ない台数でスタートする可能性もある。また、運行方法については、当初は有人による実験を重ねた上で、数年後の無人自動走行に向けた車両開発につながるような取り組みが進められると考えている。

答弁 現在、公共交通が問題となつているのは、地方都市の中・山間地域であるが、本市の場合は、大都市近郊のニュータウン開発が全国に先駆けて進められたことが有名であり、この点に着目されたものと聞き及んでいる。

質問 道路・水路維持補修事業において、現在閉鎖中の市立けやき坂小学校西側通路を自転車と歩行者の専用道路として開通させるため、工事請負費として960万円を追加しようとしているが、現地を確認したところ、当該通路を児童の通



けやき坂小学校西側通路

用語説明

オンデマンドモビリティ(需要応答型交通システム)
路線バスの乗り合いとタクシーの予約を組み合わせた交通形態。事前予約による乗り合いで運行することや運行ダイヤ、乗車時間、発着地など自由な組み合わせにより、利用者にとって高いサービスの提供を受けることができる。

審議結果等一覧

第2回川西市議会(定例会) * 網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内容	審議結果等	付託委員会
報告第1号	平成30年度川西市一般会計予算の継続費繰越しについて	公共施設マネジメント事業 ほか4件	報告	—
報告第2号	平成30年度川西市一般会計予算の繰越明許費繰越しについて	庁舎維持管理事業、管財事業 ほか17件	〃	—
報告第3号	平成30年度川西市一般会計予算の事故繰越しについて	公共施設マネジメント事業、清掃事務所整備事業 ほか1件	〃	—
報告第4号	平成30年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて	道路用地先行取得事業	〃	—
報告第5号	平成30年度川西市用地先行取得事業特別会計予算の事故繰越しについて	道路用地先行取得事業	〃	—
報告第6号	平成30年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計予算の繰越明許費繰越しについて	換地計画・換地処分事業、公共施設整備事業	〃	—
報告第7号	平成30年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計予算の事故繰越しについて	公共施設整備事業(区画道路改良工事等) ほか1件	〃	—
報告第8号	平成30年度川西市水道事業会計予算の営業費用及び改良工事費の繰越しについて	営業費用の移設工事、改良工事費の配水管改良等工事	〃	—
報告第9号	平成30年度川西市下水道事業会計予算の建設改良費の繰越しについて	建設改良事務費の業務委託、公共下水道整備費の設計測量等委託、水道移設等補償金、下水道管きよ築造等工事	〃	—
報告第10号	専決報告について 専決第1号 川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	市民税の住宅借入金特別控除に係る特別特定取得をした場合の控除期間の延長、同控除に係る申告要件の廃止 ほか	承認	—
報告第11号	専決報告について 専決第2号 川西市税条例の一部を改正する条例の制定について	寄附金税額控除の規定において、特例控除額の措置対象を特例控除対象寄附金とする	〃	—
同意案第2号	公平委員会委員の選任について	公平委員会委員の任期満了に伴い、満村和宏氏を選任する	同意(全員賛成)	—
同意案第3号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、松並良氏を選任する	〃	—
同意案第4号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、長谷川由紀氏を選任する	〃	—
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、坂東智子氏を推薦する	〃	—
議案第46号	市道路線の認定について	新名神高速道路及びその関連道路建設に伴い、県から移管を受けた部分を市道路線として新規認定する	原案可決(全員賛成)	建設 公企
議案第47号	川西市税条例等の一部を改正する条例の制定について	法人税割の課税の特例及び市民税の申告書の簡素化、個人の市民税の非課税の範囲を拡大する	〃	総務 生活
議案第48号	川西市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	不正競争防止法等の一部を改正する法律等の制定に伴い、住宅用防災警報器等の設置免除要件を追加する	〃	〃
議案第49号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	公職選挙法施行令の改正により、投票所及び期日前投票所の投票管理者が投票時間中に交替することが可能となったことに伴い、報酬に関する規定を整備する	〃	〃
議案第50号	川西市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律等の制定に伴い、貸付利率の引き下げや償還方法を追加する	〃	厚生 文教
議案第51号	川西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行令等の改正に伴い、低所得者の保険料の軽減割合を引き上げるとともに、対象者を拡大等の規定を整備する	〃	〃
議案第52号	川西市立幼保連携型認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	川西市立川西幼稚園と川西市立川西保育所を統合し、新たに幼保連携型認定こども園として「川西市立川西こども園」を設置する	〃	〃
議案第53号	川西市付属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	次世代型移動サービス推進に関する重要事項について調査審議する「川西市次世代型移動サービス推進会議」を設置する	〃	建設 公企
議案第54号	川西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	水道法の一部を改正する法律の制定に伴い、指定給水装置工事事業者の指定に更新制が導入されることから、更新手数料等を規定する	〃	〃
議案第55号	令和元年度川西市一般会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額に1億1164万8000円を追加、歳入歳出予算の総額は572億5464万8000円	〃	総務 厚生 生活 文教 公企
議案第56号	令和元年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第1回)	消費増税に伴う低所得者世帯に属する第1号被保険者の保険料軽減強化に係る保険料を減額し、その財源として一般会計繰入金を増額する	〃	厚生 文教
請願第5号	公立夜間中学校の受け入れ体制の充実を求める請願書	兵庫県教育委員会に対して、尼崎市立成良中学校琴城分校への事務職員の配置のほか、夜間中学校設置市と未設置市の調整などを講じるよう求める	取下げ(全員賛成)	〃
請願第4号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める請願書	国に対して、最低賃金の地域格差縮小のための施策や中小企業支援を進め、時給を1000円以上に引き上げることなどを求める	不採択(賛成少数)	総務 生活
請願第6号	市立川西病院の政策医療の維持充実を求める請願	救急、小児科及び産婦人科の政策医療の内容と水準を、必要なスタッフを確保した上で維持向上させることを求める	〃	建設 公企
請願第7号	市立川西病院の現状の情報開示と北部医療体制の市民要望を聞くことを求める請願	市長に対して、市立川西病院の現状について医療法人に情報開示を求め、その内容を市民に公開し、北部医療体制の基本構想について市民の要望を聞く機会を速やかに設けることを求める	〃	〃
選挙第1号	川西市選挙管理委員会委員の選挙について	委員の任期満了に伴い、新しい川西市選挙管理委員会委員を選出する	選挙(指名推薦)	—
選挙第2号	川西市選挙管理委員会委員補充員の選挙について	委員補充員の任期満了に伴い、新しい川西市選挙管理委員会委員補充員を選出する	〃	—
意見書案第3号	小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	国に対して、令和2年度の予算編成を行うに当たり、少人数学級の推進を図り、教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度を維持することを求める	原案可決(全員賛成)	—
請願第8号	「小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書		採択	—

賛否の状況

* 賛否が分かれたもののみ掲載 賛成：○ 反対：× 欠席：—

議案名	議員名	市民クラブ "改革の風"					明日のかわにし					川西まほろば会					公明党					日本共産党議員団			無所属		
		津田加代子	谷正充	福西勝	岡留美	中井成郷	山下隆志	小山敬明	田中麻未	坂口美佳	多和田桂子	斯波康晴	西山博	松隈紀文	磯部裕子	秋田修一	久保義孝	平岡譲	大崎淳正	麻田寿美	大矢根秀明	江見輝男	黒田美智	吉岡健次	北野紀子	吉富幸夫	中曾千鶴子
請願第4号		○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第6号		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
請願第7号		×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

* 地方自治法の規定により、大矢根秀明議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

一般質問

健康

「健康マイレージ」誰でも参加しやすい環境整備を

川西まほろば会 磯部 裕子

質問 「かわにし健康マイレージ」事業は「歩く」ことが中心となっているが、さらなる推進には、健康等への関心が低い層に加え、高齢者や障がい者が参加しやすい環境整備も重要と考えることから、今後の取り組み方針を伺いたい。

答弁 高齢者や障がい者スポーツとして、子どもから高齢者まで気軽に参加できるレクリエーションスポーツの普及に取り組んでおり、これらの大会をポイント対象事業としている。また、障がい者は、指導者の確保が課題であるものの、さまざまなスポーツ教室を開催している。今後は地域の関連行事をポイント対象としながら、無関心層にもアプローチしたい。

その他の質問項目
○ヘルプマークの啓発と普及に関する取り組み状況について

福祉

「ひきこもり支援」周知の現状と今後の取り組みは

公明党 麻田 寿美

質問 ひきこもりの問題には、訪問支援から切れ目のない相談・支援体制を確立するとともに、市民に広く周知することが重要であると考えるが、本市の現状と今後の取り組み等について伺いたい。

答弁 広報活動は、年齢層や個別事情等に応じて所管部署で対応しているが、市としてしっかりと戦略を立てて市民に届けることが大切であると考えている。また、近年、SNS等を含めて連絡手段が大きく変容する中では、相談体制等の多様性を確保していく必要がある。今後は、それぞれの人生が幸せなものとなるよう、近隣の専門機関等と連携を強化しながら、早急に取り組みを検討していきたい。

その他の質問項目
○本市における期日前投票所の期間と時間について

教育

教職員配置の現状と人材確保は

市民クラブ、改革の風、福西 勝

質問 人口が減少しつつある中で、今後、さまざまな業種で人材不足の深刻化が予想される。特に、教職員の確保は喫緊の課題であると考えるところから、本市における欠員などの現状と対応策を伺いたい。

答弁 教職員の配置については、欠員解消に向けてさまざまな取り組みを続けているが、現状では、臨時講師3名、非常勤講師5名、障がい児加配などの臨時職員12名の欠員が生じている。

市としては、今後ともハローワークへの求人依頼や学校へのポスター掲示など、あらゆる手段を講じるほか、長期的には、子どもたちが夢を持つよう教育の充実を図り、本市で育った教員が増えるような取り組みも研究していきたい。

その他の質問項目

○これからの部活動の在り方について

医療

自宅での「看取り」希望者への対応は

明日のかわにし 田中 麻未

質問 ドクターカーを導入する自治体では、在宅での「看取り」に対応

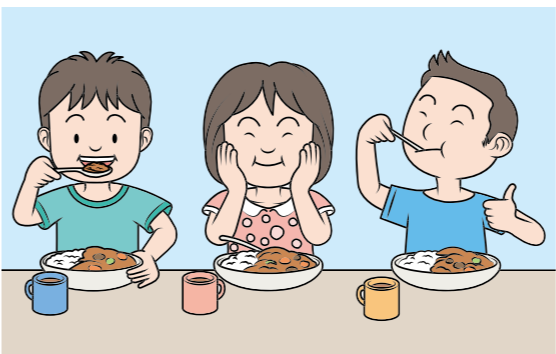
子ども

子ども食堂の充実を

市民クラブ、改革の風、中井成郷

質問 子ども食堂の取り組みをさらに充実させるためには、所管する部署の一元化のほか、新たに組織する子ども財団等による支援や市役所の地下食堂を営業時間外に有効活用するなど、積極的な工夫が必要と考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 子ども食堂は、運営主体や形態によって所管部署が複数にわたる現状であるが、特に、公民館を活用した子どもの居場所づくりに寄与するものについては、市全体で情報共有を図りながら、引き続き適切な支援に努めていきたい。



答弁 現在、本庁舎においては、手話通訳者1名の常時配置に加え、手話通訳者の派遣事業を活用することなどにより、おおむね対応できていると考える。しかし、本庁舎以外の施設では課題もあることから、今後、先進自治体の事例を参考にしながら、民間サービスの利用やICT機器の活用などを研究していきたい。

その他の質問項目

○新生児聴覚スクリーニング検査の推進ならびに助成について

防犯

防犯カメラ設置のさらなる推進を

無所属 中曾 千鶴子

質問 子どもの安全対策という視点から、犯罪の抑止等に効果が期待できる防犯カメラの設置を、本市でも一層推進すべきと考えるが、これに対する見解と今後の取り組み方針を伺いたい。

答弁 子どもの安全確保に関しては、地域で見守り続けることが重要と考えている。防犯カメラは、この補完策と捉えており、市としては、地域が自主的に設置・更新する際に市の補助制度を活用することで、カメラの設置が継続されるよう注力していきたいと考えている。

答弁 民間企業に協力要請し、防犯カメラ付き自動販売機を設置す

答弁 川西市全体の戦略という視点で、今回の具体的な提案は、「かわにし創生総合戦略」の策定に向けた重要な提案として受け止めたいと考える。

その他の質問項目

○子どもの安全確保について

防災

住宅耐震化の促進へ制度周知と負担軽減策を

日本共産党議員団 北野 紀子

質問 全国的に住宅の耐震化が進んでいるが、その主な要因は、多額となる改修費用の負担であると考えられることから、本市における補助制度の周知状況に加え、工事費の代理受領による負担軽減策を講じる考えはないか伺いたい。

答弁 当該補助制度については、耐震診断や改修費用等の補助メニューに関する案内チラシを作成し、自治会に配布するなど、意識啓発に努めている。

また、改修費用に係る補助金を直接工事業者に支払う代理受領制度を活用し、利用者の負担軽減を行う取り組みについては、今後、前向きに検討を加えていきたいと考えている。

その他の質問項目
○再生可能エネルギーの健全な発展について

などの事例もあり、今後とも市民の安全確保に向けてさまざまな視点で検討を加えていきたい。

その他の質問項目

○川西市の教育について



防犯カメラが設置されている通路路 (日高町)

騒音対策

「航空機騒音」通年測定による実態把握を

日本共産党議員団 吉岡 健次

質問 離陸と着陸が逆ルートとなるケースがある。本市上空から着陸する場合、機体の旋回による騒音影響時間や低空飛行に伴う騒音量が懸念されることから、実態把握に向けて通年の騒音測定を実施すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

答弁 航空機騒音の調査については、本年度、環境省が定める航空機騒

一部の質問のみ掲載しています。その他の項目はこちらへ

川西市議会

検索

音測定・評価マニュアルに基づき、逆着陸騒音値を把握することとしているが、この夏の測定は、例年7日間のところを14日間に延長して実施する予定である。

今後は、当該測定結果を踏まえて、騒音の影響範囲等を分析し、実情の把握に努めていきたいと考えている。

その他の質問項目

○水害対策について

交通

「運転免許自主返納」市独自で啓発する考えは

明日のかわにし 多久和 桂子

高齢者ドライバーによる自動

車事故が多発する中、本市でも運転に不安を感じる高齢者に免許証返納を促すため、啓発チラシを独自に作成し活用してはどうかと考えるが市の見解を伺いたい。



運転免許証の自主返納については、現在、市ホームページに啓発用リーフレットを配置し啓発に努めるとともに、交通安全の啓発活動の機会に周知する考えである。市独自の取り組みについては、必要性を認識しており、引き続き、関係事業者等と連携を図るとともに、他市の事例を参考にしながら、できるだけ早く具体的な手法などを検討していきたい。

その他の質問項目

○市民トイレ設置のあり方と見直しをする

市民活動

地域分権制度については、一括交付金等で財源が移譲される一方、地域に委ねる業務等の権限移譲が進んでいないと感じる。そこで、市が地域に委託可能な業務等をメニュー化して、自主的な選択を提案する考えはないか伺いたい。

明日のかわにし 新波 康晴

市が委託できる業務等のメニューについては、過去に整理した経過がある。将来的には、こうしたメニューの一覧を作成し提示する方向であるが、各地域では既存事業等に懸命に取り組まれている現状であり、今後、コミュニティや地域自治組織がしっかり活動

地域への権限移譲メニュー化を

明日のかわにし 新波 康晴

地域分権制度については、一括

交付金等で財源が移譲される一方、地域に委ねる業務等の権限移譲が進んでいないと感じる。そこで、市が地域に委託可能な業務等をメニュー化して、自主的な選択を提案する考えはないか伺いたい。

市が委託できる業務等のメニューについては、過去に整理した経過がある。将来的には、こうしたメニューの一覧を作成し提示する方向であるが、各地域では既存事業等に懸命に取り組まれている現状であり、今後、コミュニティや地域自治組織がしっかり活動

を休止し10対1の体制としているが、入院患者が少ないため大きな影響は生じていない。これは緊急避難的な措置であることから、引き続き看護師確保に努めていきたい。

む人が増えている。こうした実態は十分に認知されており、市として啓発活動に取り組むべきと考えるが見解を伺いたい。

答弁

化学物質過敏症については、解明されていない部分も多く、社会的に広く知られているとは言い難い状況である。市としては、症状を抱える人に限らず、より多くの市民に香料等による影響や対策などを正しく理解してもらう必要があると考えており、他市の取り組み事例も参考にしながら、ホームページ等を活用した啓発を検討していきたい。

その他の質問項目

○指定管理者制度導入後の市立川西病院の労働環境について

病院

指定管理者移行後の医療サービスの現状は

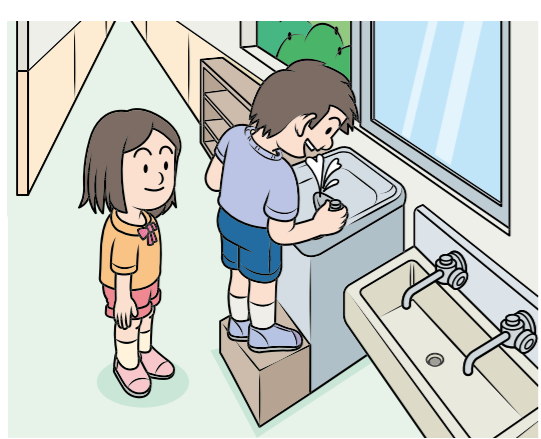
市民クラブ、改革の風、山下 隆志

市立川西病院が指定管理者による運営となつて以降、約2カ月が経過する中で、運営状況等のさまざまな情報が錯綜し、一部の市民には誤解が生じているようにも感じられる。

そこで、運営主体変更に伴う医療サービスのの変化等について現状を伺いたい。

答弁

病院運営については、従前までの診療科目が維持され、入院治療に関しても受け入れができており、基本的な医療サービスに変化はない。なお、看護師配置は、本年5月から1病棟



水道水を活用した子どもたちの熱中症対策を

安全対策

学校での熱中症対策と水道水に親しむという視点から、受水槽方式を直結式給水に変更し、冷水機によるおいしい水を提供することや簡易型ミストシャワーを設置する考えはないか。

これまで学校では、衛生面の配慮から水道水を直接飲まない

学校での熱中症対策と水道水に親しむという視点から、受水槽方式を直結式給水に変更し、冷水機によるおいしい水を提供することや簡易型ミストシャワーを設置する考えはないか。

これまで学校では、衛生面の配慮から水道水を直接飲まない

できるようサポートした上で、委託可能な業務等について、地域と共に検討を進めていきたい。

その他の質問項目

○地域内公共交通の維持改善について

子ども

医療的ケアを要する子どもの受け入れ体制整備を

日本共産党議員団 黒田 美智

本市では、医療的ケアを必要とする子どもが、留守家庭児童育成クラブや保育所等を利用できない現状がある。そこで、看護師の配置など、受け入れ体制を整備すべきと考えるが見解を伺いたい。

留守家庭児童育成クラブについては、新たに募集ポスター掲示や求人サイトへの掲載に加え、川西養護学校に配置している看護師の派遣などを協議しており、引き続き人員確保に努めていきたい。

保育所及び認定こども園においても、地域で健やかな育ちを保障する観点から受け入れが必要であると認識しており、全ての子どもたちが平等に教育・保育を受けられるよう協議していきたい。

市の契約の公正性・公平性・透明性の向上をはかることについて

よう指導されてきた経緯がある。水道事業者としては、給水方式の変更は難しいものの、冷水の提供に向けて工夫するとともに、安全でおいしい水道水の周知に努めていきたい。

ミストシャワーは、昨年度、熱中症対策として、一部の学校で設置した経緯があり、既に校長会議を通じて、全校での設置に向けた取り組みを進めている。

本市における食品ロス削減の取り組みについて

環境美化

ごみ収集の現状に対する見解は

明日のかわにし 小山 敏明

本市のステーション方式によるごみ収集は、さまざまな課題を抱えながらも、市民の協力により運営しているが、戸別収集方式の近隣他市と比較して、収集費用が割高であるなど、成果として表れていない現状について市の見解を伺いたい。

当該事業については、ごみの分別区分が多ければ収集時に、少なければ施設での処理段階で費用を要するため、トータルで比較した場合は、近隣市と同程度の経費になっている状況である。

各地域で防災マップ作成を

公明党 江見 輝男

近年、本市においても大型台風等の自然災害が連続している。こうした中、市民の防災意識を高め、地区防災計画の策定につなげるためにも、全体的な取り組みとして、地域住民が主体となった防災マップの作成が効果的であると考えるが、これに対する市の見解を伺いたい。

防災マップについては、いくつかのコミュニティや自治会で作成されており、出前講座で紹介するなどの啓発を行っている。住民主体で作成された防災マップは、地域の実情を踏まえた内容であり、災害発生時の避難ツール等として有意義であることから、各地域で地区防災計画策定のきっかけにすることを含めて、今後とも普及啓発に努めていきたい。

臨時職員の募集・登録状況について

健康

化学物質過敏症の啓発を

市民クラブ、改革の風、谷 正充

柔軟剤や芳香剤等に含まれる香料によって、化学物質過敏症を発症し、頭痛や皮膚疾患等の健康被害に悩

ごみの収集体制等は、これから実施する全事業の見直しにおいて、費用面に加え環境負荷の低減といった総合的な観点から検証が必要であると考えている。

市街化区域及び市街化調整区域の区域区分の見直しについて

教育

教育環境の向上と教職員の働き方改革推進を

市民クラブ、改革の風、津田加代子

教育環境の向上と教職員の働き方改革という観点から、特に臨時職員の確保に向けた賃金増額の考えに加え、市が独自に小学校5・6年生を35人学級とすることについての見解を伺いたい。

臨時職員の確保には、賃金が大きな要素となるが、勤務条件等を含めて、教育委員会と市長部局が連携しながら、しっかりと検討していきたい。

5・6年生の35人学級は、国全体で取り組むべき課題と考えており、実現に向けては、関係機関への要望を続けていきたいと考えている。

本市「子ども議会」の発足の思いを、これから始まる「子ども自主活動支援事業」に繋ぐため、考えていくべき内容について

委員会視察報告

総務生活常任委員会

実施日

令和元年5月15日

視察事項

香川県三豊市

「バイオマスを活用した市の取り組みについて」

本市から発生する可燃ごみは、本市を含む1市3町を構成員とする「猪名川上流広域ごみ処理施設組合」において焼却方式により処理されていますが、実情は、課題が山積しています。

平成21年の稼働後、既に10年が経過し、今後、到来するごみ処理施設の更新時期に備え、本市にとって環境面や費用面などにおいて、より有効な処分方式を研究する必要があります。

そこで、今回の行政視察は、三豊市が取り組んだ日本初のトンネルコンポスト方式による、バイオマス資源化センターでのごみ処理と資源化の取り組みについて勉強してきました。

ごみ処理や環境問題に対する住民意識の向上策、施設建設における物理的な要件、処理可能なごみの総量、資源化後の固形燃料の販路など多岐にわたり学ぶことができました。

今回の視察は、ごみ大国日本における各自治体



らし・相談サポートセンターを設置し、専門の相談支援員が相談者に寄り添い支援しているだけでなく、相談支援員のほかにも就労支援員、修学支援員、引きこもり相談に特化したアウトリーチ支援員を配置し、相談体制の強化が図られていました。また、同サポートセンターの代表的な支援ツールとしては、就労準備支援、家計改善支援、修学支援があり、支援員が困りごとを解決へ導いていました。

視察を終え委員からは、アウトリーチ（訪問支援）による早期支援の重要性や家計相談支援・子どもの学習支援事業の実施など必要な支援を早期に実施しなければいけないなどの声が聞かれました。

視察委員

麻田寿美 中曾千鶴子 西山博大 中井成郷
吉岡健次 田中麻未 平岡 謙 小山敏明
津田加代子

(委員長 平岡 謙)

でのごみ問題や地球環境問題を根本から考え直す、素晴らしいきっかけになりました。三豊市のモデルがそのまま本市に適用できないにしても、事業の一部を応用できる可能性があります。



今後、ごみ処理施設を建て替える際の基本的な考え方や、「ごみは燃やす」という発想からの転換など、今回の視察で得られた情報や経験を積極的に生かし、川西市での応用の可能性を探りたいと思います。

また視察後には、各委員に対して今回の視察のヒアリングを実施、視察先に追加質問を行い、さらなる研鑽に努めました。(委員長 多久和桂子)

建設公企常任委員会

実施日

令和元年5月14日～5月15日

視察事項

勉強会

「本市における空き家対策の現況等について」

栃木県栃木市

「空き家対策について」

大阪・神戸近郊の良質なベッドタウンとして昭和40年代以降、大型住宅団地の開発により発展した本市では、戸建物件を中心とした初期開発の住宅団地の高齢者世帯数・率は年々増加し、近い将来の急激な空き家発生リスクが課題となっています。

そこで本委員会では、調査事項を「空き家対策」に絞り、まず本市の空き家対策を所管する住宅政策課、そして対策の協定を結ぶNPO法人を交えての勉強会を行い、本市における取り組みの現状を踏まえた上で、本市と人口規模がほぼ同じであり、空き家対策を先進的に進める栃木市の現地調査を行いました。

調査の結果、①自治会と連携した空き家の早期発見・情報共有・利活用促進(国の先駆的空き家対策モデル事業)②市が受付対応の役割を担い、ホームページ上で運営する空き家バンク制度(あったか住まいるバンク)③NPO法人との協定による予防啓発・空き家の適正管理④空き家を活用した移住促進事業(移住体験施設等、空き家の発生抑制(流通促進)に重点をおいた施策が実効的でした。

視察委員

大崎淳正 磯部裕子 秋田修一 岡 留美
多久和桂子 北野紀子 山下隆志

厚生文教常任委員会

実施日

令和元年5月28日・5月29日

視察事項

滋賀県野洲市

兵庫県伊丹市

「生活困窮者支援事業の取り組みについて」

今回、当常任委員会の所管事務調査として、生活困窮者支援事業の取り組みについて先進的に取り組まれている滋賀県野洲市と兵庫県伊丹市を視察、調査しました。

滋賀県野洲市の取り組みは、「おせっかい」を基本に、市役所1階の市民生活相談課が総合窓口となり、仕事・生活・借金などの悩みに関する相談など、どんな相談でも対応できるように、市民生活相談、消費生活相談、法律相談、行政組織の横断的な情報共有などの機能を一つに集約し、さまざまな支援をつなぎ合わせ、相談者に寄り添いプライベートも考慮しながら「ワンストップ」で支援しているのが特徴的でした。そのほか、家計相談支援や子どもの学習支援、庁舎内にハローワークとの一体的実施施設「やすワーク」を設置し、就労促進支援などを行っていました。

兵庫県伊丹市の取り組みでは、市役所1階に「く

同市が、これらの施策を展開する上で、連携・提携する自治会や宅建業協会、金融機関、NPO法人と綿密で丁寧な対話を重ね、利害調整を含む役割分担を成立させた経過、また、「市民・相談者へのファーストアテンド(問合せへの最初の応対力)こそが鍵」とする職員の意識、熱意、誇りに接し、感銘を覚えた委員も少なくありません。

この現地視察の後、本委員会ではあらためて委員勉強会を開催するとともに、全委員の合意の下、この後も本市の空き家対策についての政策提案を見据えた勉強会を継続していきます。

視察委員

谷 正充 福西 勝 松隈紀文 黒田美智
坂口美佳 大矢根秀明 江見輝男 斯波康晴
久保義孝

(委員長 斯波 康晴)



受理した陳情

- 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情
- 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情
- 指定管理者制度移行後の川西病院の実態を踏まえ、「基本構想」の精査を求める要望書
- 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情

小・中学校における少人数学級の実現と義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書〈全文〉

本年4月から働き方改革関連法が施行されましたが、学校現場では解決すべき課題が山積し、教材研究や授業準備の時間を十分確保することが困難となっています。特に新学習指導要領への移行期間中である小学校では、外国語教育の授業時数調整に大変苦慮しており、子どもたちの豊かな学びを実現するためにも、定数改善による教職員の長時間労働は正は、最重要課題と捉えなければなりません。

義務教育費国庫負担制度については、小泉政権下の三位一体改革で国の負担割合が2分の1から3分の1に引き下げられました。このため、いくつかの自治体は厳しい財政状況の中、独自財源による定数措置を行っていますが、先の見通しをもって安定的に教職員を配置するためには、国が施策として財源を保障すべきです。

子どもたちは、全国どこに住んでいても、一定水準の教

育を受ける権利を憲法上有しています。子どもの学び意欲や主体的な取り組みを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備は不可欠です。

よって、当市議会は、国が令和2年度の予算編成を行うに当たり、下記の項目を実現されるよう、ここに強く要望します。

記

1. 子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進するとともに、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、少人数学級の着実な推進を図ること。
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

かわにし市議会からのお知らせ

◎一般質問を行う本会議及び10月に開催される決算委員会の日は午前9時30分から始めます

次の定例会の予定は下記のとおりです。一般質問及び決算委員会(10月のみ)を予定している日は、午前9時30分開議・開会となります。これは、議会改革の一環として、質問時間を十分に確保し、議論の質を高めることを目的としています。

また、当市議会では、本会議のほか、議会運営委員会、常任・特別委員会など、全ての会議を公開しています。会議の日程は市議会ホームページに掲載していますので、ぜひ傍聴にお越しください。

なお、急きょ会議を開催したり、予定が変更になることがありますので、詳しくは市議会事務局へお問い合わせください。

9月定例会(予定)		
8月27日(火)	午前10時	本会議(招集日)
9月4日(水)	午前9時30分	本会議(一般質問)
5日(木)	//	本会議(//)
6日(金)	//	本会議(//)
9日(月)	午前10時	常任委員会
10日(火)	//	//
11日(水)	//	//
12日(木)	//	決算委員会
19日(木)	//	本会議(議案上程)
25日(水)	//	本会議(最終日)

閉会中の継続審査(予定)		
10月2日(水)	午前9時30分	決算委員会
3日(木)	//	//
4日(金)	//	//
7日(月)	//	//
8日(火)	//	//

10月臨時会(予定)		
10月24日(木)	午前10時	本会議(招集日)
25日(金)	//	本会議(最終日)

◎会議録について

公開している全ての会議は「会議録」として記録していますので、この市議会だよりに掲載している内容の詳細をご確認いただけます。

会議録は、冊子として市議会事務局や中央図書館、市役所の市政情報コーナーに備えているほか、市議会ホームページにも掲載しています。

なお、会議録の作成には数カ月かかりますので、ご了承ください。



◎ホームページへようこそ

市議会のホームページには会議録だけでなく、会議の開催日程や、議員の政務活動費などについても掲載しています。

また、現在6月定例会の本会議の様子を録画配信しています。

本会議場でのやりとりをご家庭などで見ることが出来ますので、ぜひご利用ください。



川西市議会ホームページ

広報委員会

委員長	秋田 修一
副委員長	麻田 寿美
委員	吉岡 健次
	田中 麻末
	平岡 謙
	多田 桂子
	ス波 康晴
	山下 隆志

これから暑さが厳しくなり、台風や集中豪雨などへの警戒が必要な季節を迎えます。各自で災害に備えるとともに、いま一度、地域や行政との連携をご確認いただければ幸いです。

このように議会の活性化を目指してまいります。そのためには市民の皆さまとの対話がとて大切であると認識しています。最近、少しずつ議会を傍聴される方が増えてまいりました。市民の皆さまに関心を持ってもらえるよう、またしっかりと声を届けられるよう、議会運営に努めてまいります。

その上で提案や提言ができるように議会の活性化を目指してまいります。そのためには市民の皆さまとの対話がとて大切であると認識しています。最近、少しずつ議会を傍聴される方が増えてまいりました。市民の皆さまに関心を持ってもらえるよう、またしっかりと声を届けられるよう、議会運営に努めてまいります。